

全鉄連流通動態調査結果表 平成28年9月分

(28.10.26)

全国鉄鋼販売業連合会

品 種	地 区	前月在庫量		仕入量		販売量		当月在庫量		
		8月実績	前月比	9月実績	前月比	9月実績	前月比	9月実績	前月比	
異形棒鋼	東京	7,206	120.6%	52,422	96.1%	53,669	100.6%	5,959	82.7%	
	大阪	4,392	93.1%	27,566	111.3%	27,617	110.1%	4,341	98.8%	
	愛知	7,028	103.8%	3,051	109.4%	2,994	118.3%	7,085	100.8%	
	計	18,626	106.7%	83,039	101.1%	84,280	104.1%	17,385	93.3%	
形 鋼	山形鋼	東京	18,854	97.1%	8,428	99.3%	9,210	101.8%	18,072	95.9%
		大阪	17,512	92.9%	8,280	101.5%	9,407	99.0%	16,385	93.6%
		愛知	11,870	101.8%	6,580	107.5%	6,738	114.0%	11,712	98.7%
		計	48,236	96.6%	23,288	102.3%	25,355	103.7%	46,169	95.7%
	溝形鋼	東京	15,044	104.4%	6,175	100.7%	6,465	117.5%	14,754	98.1%
		大阪	11,314	97.3%	5,314	96.1%	6,086	104.3%	10,542	93.2%
		愛知	8,093	98.4%	4,655	103.9%	4,938	107.1%	7,810	96.5%
		計	34,451	100.6%	16,144	100.0%	17,489	109.7%	33,106	96.1%
	H形鋼	東京	24,902	93.2%	13,517	99.8%	16,221	105.7%	22,198	89.1%
		大阪	38,259	97.6%	26,532	104.1%	28,991	109.7%	35,800	93.6%
		愛知	20,534	92.3%	11,925	107.6%	13,785	107.6%	18,674	90.9%
		計	83,695	94.9%	51,974	103.7%	58,997	108.1%	76,672	91.6%
合 計		166,382	96.5%	91,406	102.7%	101,841	107.2%	155,947	93.7%	
コ ラ ム	東京	9,544	97.7%	3,738	125.2%	3,208	99.8%	10,074	105.6%	
	大阪	9,524	96.5%	4,662	97.6%	4,267	83.3%	9,919	104.1%	
	愛知	2,222	101.0%	1,189	102.7%	1,186	104.4%	2,225	100.1%	
	計	21,290	97.5%	9,589	107.5%	8,661	91.4%	22,218	104.4%	
軽量C形鋼	東京	3,398	103.9%	2,956	113.3%	2,654	107.0%	3,700	108.9%	
	大阪	3,154	97.1%	2,018	104.5%	2,147	106.1%	3,025	95.9%	
	愛知	2,942	102.1%	1,123	83.9%	1,345	105.2%	2,720	92.5%	
	計	9,494	101.0%	6,097	103.7%	6,146	106.3%	9,445	99.5%	
総 計		215,792	97.6%	190,131	102.3%	200,928	105.1%	204,995	95.0%	

(注) ①単位トン ②調査対象企業 東京31 大阪21 愛知15 合計67社

※この資料は経済産業省、鉄流懇関係者、報道機関のみ配布しています。

〔調査内容変更について〕

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品種ながら、市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しを提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し、上記のとおり発表することとなった。

その変更内容は①調査対象品種にコラムを追加②調査対象品種よりブレン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キーストンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機関である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、平成13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数量をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。